

## 第 19 回 建設工学科 学生連絡協議会 議事録

日 時： 2016(H28)年 4 月 22 日 (金) 18:00～19:00

場 所： 建設工学科 2 階会議室

司 会： 山辺 (H27 年度 学生連絡協議会)

記 録： 小嶋 (H27 年度 1 年担任)

### 出席者：

学生：川名・塩野 (M1)，遠藤・本田 (B4)，伊藤・新田 (B2)，矢野 (B1)

教員：田中 (進路指導部会，3 年担任，平成 28 年度学生連絡協議会)，牧 (4 年担任)，党 (3 年担任，建物環境整備委員会)，小嶋 (2 年担任，学部 FD 委員会)，斎藤 (1 年担任)，谷山 (学部カリキュラム委員会)

### 議 事：

#### 1. 前回第 18 回学生連絡協議会 (2014. 11. 21 実施) 議事録の確認

第 18 回学生連絡協議会の議事録が確認された。

#### 2. 学生からの意見，質問

##### 2-1. 学生駐車を登録なしでも使えるようにしてほしい

学生：学生用駐車場がリニューアルされて，登録していない車は入れなくなってしまう不便である。レンタカーを借りた場合など，昔は駐車することができたが，今はできない。

→通学で必要性が認められた学生は利用できるし，研究で必要なレンタカーなら許可を取って大学内の駐車場を利用できる。私用で駐車場が必要な場合は自分で対処すべき。

##### 2-2. 健康診断での留学生への対応，待ち時間を改善してほしい

学生：ガイダンスで留学生に日本語の問診表が配られており，保健センターでは日本語の設問でも答えるように言われたので苦労して手伝った。しかし実際には英語版があったそうである。間違いなく英語版を配るよう対応をしてほしい。

→次年度以降の留学生向けのガイダンスでの対応について，M1 担任と FS0 で担当者を確認し，確実に配布できるように次年度担当に引継ぐ。

学生：健康診断に行くと，2 時間待つこともあり，待ち時間が長すぎる。日にちを増やすなど対応を考えてほしい。

→新入生向けの健康診断の日数を増やしてもらえるよう，学科から要望する。

##### 2-3. 設計製図の必要機材を貸し出してほしい

学生：製図版，定規など，必要な道具をそろえると 3 万円ほどかかる。建築士の試験を受ける場合は必要になるということだが，他の授業では使わないので学科負担で購入したものを貸し出してもらえないか。受講者は 50 人ほどいる。

→建築系分野別小委員会に検討を依頼する。50 人となると，一度に購入するには多額の費用が必要。

#### 2-4. 構内の飲物の自動販売機が変わったことが不満

学生：自動販売機が変わって、これまで買っていた飲物がなくなってしまった。

→生協に学生自身でリクエストをする。

#### 2-5. 建設棟と応化棟の間の小道を改善してほしい

学生：雨が降ると、地面がどろどろになって通りづらい。建設棟は1階が通り抜けられないので、雨でも外側を通ることが多い。また、建設2号棟西側についても南側道路に続く建物沿いの短い通路が同様の状況であると、協議会の席上で指摘された。

→建物環境整備委員会で検討し、改善の要望をあげる。

#### 2-6. 東西の門の夜間施錠を守ってほしい

学生：東西の門が夜中は閉まっているはずなのに、最近開いていることがある。その周辺には不審者がでるとい話があるので、夜間の施錠を確実にしてほしい。

→安全衛生委員会から、改善の要望をあげる。

#### 2-7. USBメモリから印刷できるコピー機が建設棟近くにもほしい

学生：ローソンにあるUSBメモリから印刷できるコピー機を、建設棟の近く（たとえば第1生協）にも設置してほしい。ローソンのコピー機には行列していることも多く、コピー機の数自体も増やしてほしい。

→パソコンからのプリントアウトであれば、学内に課金プリンターがある。コピー機の設置数増については、何らかの方法で生協に要望を伝える。

#### 2-8. 4階のゼミ室で学内Wi-Fiが繋がらない

学生：4階のゼミ室では学内Wi-Fiが繋がらず不便である。プロジェクターがあるなど設備がそろった部屋なので、Wi-Fiが使えないのはもったいない。

→マルチメディア委員会で状況を確認し、検討する。

SUワイヤレスが通じなくても、建設工学科独自のWi-Fiが繋がる部屋もあり、統一認証アカウントで利用できる。

#### 2-9. 入学記念アルバムの個人写真を建設工学科だけとっていない

学生：他の学科では、すでにアルバム用の写真を取っているが、建設工学科は後日といわれている。後日がいつなのかが分からない。

→1年担任から生協に問い合わせる。

## 2. 講義に関する意見（教員から依頼）

### 3-1. クォーター制など講義に関する意見

学生：課題を提出するまでの期間が短いので、大変である。

学生：1日休みの日ができやすいと感じる。そのため、バイトがしやすくなった人がいる。

学生：逆に、1日休みの日ができづらくなったと感じる。

学生：クォーター制とセメスター制が混在しているのは混乱する。

学生：大学院では1時限の授業が増えたと思う。

学生：クォーター制になったことで中間試験の運用が変わったといううわさを聞いたが、本当か。  
→把握はできていないが、クォーター制になったことで、中間試験をしなくなった科目があるかもしれない。その場合は、期末試験だけで評価されるなど、勝負できる回数が減ることになるだろう。

学生：クォーター制になった今のほうが、期末試験、中間試験の実施時期が集中していそうなので、大変そうだ。

→今後、同じ日に試験が重なり過ぎないように、教員間で調整する必要があるかもしれない。検討する。

→クォーター制の運用について、すぐに全てを改善することはできないが、いろいろ意見を聞いて、改善をしていく。

### 3-2. 基盤科目の抽選に関する意見

学生：基盤科目は、抽選のために履修登録の締め切りが早いと聞いていたのに、先着順で受講できない科目があった。全て抽選で決めるよう統一してほしい。

学生：取りたい科目が複数コマ開講されている場合、いずれかで抽選に当たるよう、どちらも履修登録をしたいが、システム上できないようになっている。第1タームで抽選に落ちたら、第2タームの同じ科目の抽選に参加できないということになるので、困る。

→カリキュラム委員会で対応を検討する。

### 3-3. 卒業研究発表の聴講について

学生：知識が足りないことが分かった。発表は難しくて分からなかった。

→今年の発表をもう一度聞きに行ってもらいたい。分かることが増えているはずなので自分の成長も分かるだろう。

## 4. その他、教員からのメッセージ

- ・H28年度の学生連絡協議会は年内に開催する事が望ましい。各年度に1回の開催が良い。
- ・学生委員の任期は2年である。
- ・就職活動に関わるルールがいろいろ変わっている。早くから準備を進めてほしい。
- ・昨年度の4年生は、大学院に進学する割合が多かった。進路として進学も是非視野に入れてほしい。

以上